

2024-25

国際ロータリーテーマ

2024-25 会長方針

Weekly Report No.2400



不易流行 ～より良い未来の実現のために～

会長 荒木義男 幹事 虫賀大輔 会報委員長 佐溝勝樹



事務所：〒501-6241 羽島市竹鼻町 17-3 TEL：058-392-2888 FAX：058-391-2260

例会日：毎週火曜日 12:30～13:30 例会場：西松亭 Email：hashimar@ccn.aitai.jp

zoom ID:556-098-4805 / PASS:4361

URL <https://hashimarc.com>



本日のプログラム

第 2687 回 2024 年 11 月 12 日 (火)
『クラブフォーラム』 R 財団委員会
* R 財団寄付

次回例会のご案内

第 2688 回 2024 年 11 月 19 日 (火)
『クラブフォーラム』 青少年奉仕委員会
卓話
羽島北高等学校インターアクトクラブ
顧問 郡 美穂様

前回例会の記録

第 2686 回 2024 年 11 月 5 日 (火)

『友愛例会』

夜間例会 点鐘 18:30

会長の時間



会長 荒木 義男
皆さん、こんばんは。本日は会員増強の推進がテーマの夜間例会ですが、最近ちょっと気になることがあります。それは例会への出席者が少ないことです。もちろん、いろんなご事情で出てこられない時にはメイクアップという方法がありますが、これはあくまでも救済措置です。あまりに少ないとちょっと寂しいですし、行事などの打ち合わせもできません。ロータリアンの特典であります例会出席をできる限りお願いしたいと思います。

さて、前回も会員増強についてお話ししましたが、時代の変遷とともにロータリークラブに対する世間の見方が変わり、その在り方自体が時代にそぐわないのか、昔と違って自ら入会したいと希望する方はほとんど見受けられません。また同時にロータリーを去る人の数が少なくないのも事実で、大きな問題となっています。

会員減少の主な理由としては、健康上の問題や介護などの家族の事情、経営環境の悪化と経済的な問題が挙げられますが、これらを表向きの理由として本音ではロータリーに魅力を感じられなくなって辞めていく人も少なくないと言われています。そもそもロータリーとは何だったのか？賢者は歴史に学ぶと言いますので、今日は初期ロータリーの起こりを紐解き、皆さんと考えてみたいと思います。

1905年、シカゴの街の片隅でひとりの青年弁護士が、知り合いに声をかけてたった4人で始めた集まりがきっかけとなり、そのエネルギーはしだいにアメリカ全土へと広がり、やがて世界中に拡大していく大きなうねりとなっていきました。そのロータリーの強いエネルギーの源泉は何だったのでしょか？

ロータリーは「始めに親睦ありき」と言われます。不正や犯罪が蔓延る当時のシカゴの街で、若いポール・ハリスの頭に浮かんだものは、いつも一人きりでとても寂しい思いをしている自分の姿、これをどうにかして変えたい、正しくビジネスができる仲間が欲しい、そんな仲間と語り合いたい、こんな単純な願望だったのです。

そして1905年2月23日に4人のメンバーで第1回目の会合が開かれ、ポールは互いに助け合う職業人のクラブを作ろう、そのためには一つの職種から一人だけ会員を選ぶ。そのようにして選ばれし良質な職業人のクラブは同業者を排除することによって、その会員同士は親戚同様の付き合いができるということを提唱し、4人はこれを了承し採択しました。「一業一会員制の原則」これがロータリー最初の規約であります。もともとは、会員相互の親睦と事業の発展を目的とした団体でした。

具体的には、会員同士の原価取引を推奨していました。統計係という役職を設けて、前回の例会以降の会員同士の取引実績を報告し、その成果に一喜一憂したという記録が残っています。ポールは弁護士ですから、原価取引といっても自身の請求書からどのように利益を除外したら良いか悩んでいたという記録もあるようです。

また、3月23日の創立総会では「規則的な例会出席の原則」が採択されましたが、これも親睦を守るため、会員同士のビジネス奨励のために例会出席に重きを置いた規約だったと思われます。

現在は会員同士のビジネス奨励についての言及はありませんが、当時のお互いに真っ当なビジネスをしようという発想が、のちの職業奉仕の概念に繋がっていったの

ではないかと想像しています。

このような設立当初の出来事が、私たちロータリアンがとても大切にしている親睦の原点です。よって、設立当時はまだ「奉仕」の発想はありませんでした。

ところが1906年にドナルド・カーターの事件が起こります。カーターは勧誘を受けて親睦を主とした互惠主義の説明を聞いてこう言いました。「君たちはお互いに助け合って、豊かになって楽しいだろう。しかしクラブに入れない同業者は一体どうなるのか。職業人の集まりなら職業を持たない地域社会の人達はどうか。私達はこの地域社会に生まれ、育てられ、お世話になって生きている。その地域社会に何の恩返しもしないで、自分たちだけが隆々と栄えて、地域社会に何の足跡も残さず、やがてこの世を去っていく。自分は二度とない人生を、そのようなエゴイズムの世界に置くことはできない。」と入会を断ったのです。

これを聞いて痛く反省したのがポール・ハリスでした。カーターの言うとおりの。クラブの行き方を変えよう。「我らの親睦のエネルギー世のため人のために」これがロータリーにおける奉仕概念誕生のきっかけだったので。そして、1907年にアーサー・フレデリック・シェルドンによって原理的なロータリーの奉仕理念が完成され、その後16年かけて奉仕の実践に関する1923年の決議23-34号に繋がり、現在まで続く5大奉仕になっていったのです。そして同時に、この事件がロータリー拡大のきっかけでもあったのです。

なぜなら、ロータリーが親睦だけを目的とした仲良クラブであれば、シカゴだけでやっていたら十分で他に作る必要はありませんでしたが、世のため人のために奉仕をする団体ならば、アメリカ全土にあって然るべきとのロータリー拡大の理念が出てきました。私はこれが会員増強の原点だと思います。

しかしその後、ポールやシェルドンたちの「奉仕・拡大派」と第5ロータリアンと呼ばれるハーリー・ラグルスを中心とする「親睦・互惠派」が激しく対立することとなり、ロータリー分裂の危機を招いてしまったのです。

さあここからが面白いところですが、ちょうど時間となりました。本日は始めに親睦ありきの物語り、次回、奉仕理念の確立に続きます。これで会長の時間を終わります。ご清聴、ありがとうございました。

委員会報告

出席委員会

- ・本日の出席率
出席規定会員数 30名中 16名 53.33%
- ・10月22日の補填出席率
出席規定会員数 31名中 26名 83.87%

ニコニコBOX委員会

◎ニコニコBOX

- ◆荒木 義男君 虫賀 大輔君 安藤 賢治君
岩田 勝美君 松田 和彦君 青木まき子さん
平松 暁仁君 佐溝 勝樹君 杉山 大地君
西松 永根君 輿石 豊君 辻井 晃君
大橋 竜二君 加藤 隆康君 久米 勉君
- 「友愛例会」今年もあと2ヶ月になりました。体調管理に気を付けて頑張りましょう。

本日のニコニコBOX	15,000円
------------	---------

◎仕合せ貯金

佐溝 勝樹君

本日の仕合せ貯金	1,000円
----------	--------

幹事報告 (第2686回)

- 11月10日(日)はしま駅前フェス会場にて、羽島北高校IACと共同でポリオ根絶募金活動を実施
- 次回例会は11月12日(火)『クラブフォーラム』
R財団担当
*R財団年次寄付のお願い
*R財団研修セミナー報告 平松R財団委員長
例会終了後、第6回理事役員会を開催
- 11月23日(土)第2689回例会「地区補助金事業」の役割分担とスケジュールをレターケースに配付
- 11月28日(木)岐阜カリアーRC合同親睦ゴルフコンペが開催 *参加者の皆様には組合せ表を配布
- 11月のロータリーレートは1ドル=153円
- 回覧内容
・11月23日(土)第2689回例会「地区補助金事業」
出欠確認名簿

夜間例会 懇親会



乾杯

岩田パスト会長

